

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	百貨店（店長）	販売量の動き	・来客数がかなり多く、回復している。
	◎	家電量販店（店員）	販売量の動き	・売上は前年比140%で、来客数は同比120%と好調に推移している。10万円の特別定額給付金の給付と、緊急事態宣言が解除されたが、ステイホームの意識から家で楽しむ家電が売れている。特に、焼肉ホットプレート等の家ででの食事を楽しむ家電が目立っている。
	◎	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・単純に3か月前と今月の来客数を比較すると、2けた以上増えている。新型コロナウイルスの感染防止は心掛けつつも自粛意識が薄れてきていることや、特別定額給付金の給付もあり、積極的な来店や購買が目立っている。
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・3月半ば過ぎくらいから休業していた、ホテル、式場、飲食店等が、皆営業を再開している。ふだんに比べるとまだまだ戻っていないが、一時期よりは良くなっている。
	○	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・3か月前は新型コロナウイルスによる影響が顕在化したタイミングで、その頃に比べれば当然良くなっている。衣料品の夏物セールも2週間近く前倒しでスタートしており、お中元商戦も思いのほか悪くはない。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・今月中旬から、来客数が前年比100%を超えるようになってきている。
	○	スーパー（商品部担当）	それ以外	・プレミアム付商品券の影響で、一時的に売上、来客数の増加があり、現状はやや良い状況である。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・客1人1人の買上単価をみると、単価の高い商材を買う方が増えている。少し買い控えをやめているようである。
	○	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・特別定額給付金の給付があったので、客の購買意欲が高まっている。
	○	家電量販店（店長）	販売量の動き	・給付金や東京オリンピック需要で、やや良くなっている。
	○	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・会社関係の販売は苦戦している。購買担当者に確認すると今後の状況がまだ分からないため、無駄な在庫は控えるように指示されている会社が多い。店頭ではパソコン、プリンター、周辺機器等は、働き方が通常に戻った後でも、前年比170%で売れている。家電商材は全体的に好調に推移している。輸入商材は入荷が悪く、厳しい状況である。
	○	住関連専門店（店長）	単価の動き	・10万円の特別定額給付金の給付に伴い、高額商材の需要が増加している。また、新しい生活習慣としてアルコール除菌やマスク等の商材が好調に推移している。
	○	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	来客数の動き	・6月前半は5月からの緊急事態宣言の延長だったので、最悪の状況である。20日過ぎから店の営業ができるようになり、開店時間は短いながら、正常に戻りつつある。東京に近い地域としては、都心との県をまたぐ移動が許可され、客の動きが多くなってきている。また、10万円の特別定額給付金や地域活性化の補助金が給付されたことも、良い結果に結び付きそうである。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・自粛要請の解除が影響し、来客数が増えてきている。ただし、前年並みまでは戻っていない。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・少しずつ来店客が戻っているが、まだ元の状態に戻りきっていない。近隣にある複数の工場では、海外情勢の影響で生産が再開できず、依然として休業している人がいるようで、ふだんの外食に対してシビアになっている。
○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・何となく客足が戻ってきている。ただし、宴会需要は皆無で少人数の飲食が目立っている。	

○	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	お客様の様子	・事業所給食の提供食数は、影響度に違いはあるものの、ほぼ全ての業種や業態で、新型コロナウイルスの影響がある。5月の業績が大きく落ち込んだのに対し、6月に入ってから、徐々に改善されてきている。
○	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・県の「宿泊応援キャンペーン」により、宿泊予約客が戻り始めている。ただし、売上はまだ微々たるものである。
○	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・6月19日に、県をまたぐ移動制限が緩和されたので、不十分ではあるものの、観光客の来訪数は増えている。ただし、日帰り客が多く、宿泊利用者はまだこれからといった動きである。
○	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・4～5月の新型コロナウイルスの影響の反動で、不動産管理会社、新築戸建て案件の入居数が増加傾向にある。
○	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・販売量は前年同月並みに回復してきている。
○	ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が解除され、人の動きが出てきたため、来場客が増加してきている。
○	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・新規分譲並びに在庫分の土地仲介への問合せが多くなり、幾つかは成約に結び付いている。2月以降、問合せが皆無だったが、成約物件が増えてきている。
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・大型店は少し動きが出てきたようで、駐車場も埋まってきた。中型店、小型店は客が余り増えていないようで、近隣の1店舗が閉店した。採算が取れないのだろうと思うが、一般の店も同じように、経費がかさんで倒産となるのではないかと。
□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除を受け、食品フロアのみ営業から全館営業へと戻っているものの、顧客の消費行動は依然慎重であり、前年水準までは程遠い状況は変わらない。
□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・市外や県外の客が少しずつ増えているようである。しかし、まだまだ本来の様子とは違っている。
□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・1日当たりの売上は前年比92%、4万2000円のマイナスである。来客数は同比89%、80人のマイナスとなっている。3～6月は新型コロナウイルスの流行から、売上はずっと悪い。しかし、緊急事態宣言解除後は戻ると予想していたところ、生活様式の変化、リモート勤務の影響か、来客数の落ち込みが戻らない。特に、夜8時以降の来客数が戻っていない。
□	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・前月同様、軽自動車中心の販売台数である。また、比較的価格の低い中古車も客からは求められている。救いは車検制度があることで、お陰で整備売上はほぼ安定している。
□	乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのせいで、本当に必要最小限の客しか来ない。前もって約束している車検や点検等での来店である。今まではどこか調子が悪いということで来店する客もいたが、そういう客はほとんど来ない。
□	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車販売は補助金や給付金等の給付もあつてか、やや動きがみられ、2～3か月前と比べてやや良くなっている。一方で自動車の稼働率が下がっているため、修理、来客、その他附属品の取付け等はかなり低迷しており、この先どうなるかが読めない。
□	都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・ビジネス客は少しずつ戻ってきているが、現状は少ない客の取り合いになっており、破格な料金を提示する安価なホテルに流れる傾向が強い。レストランは、再開のめどは立ったものの、新型コロナウイルス感染予防対策への準備に追われている。
□	競輪場（職員）	販売量の動き	・ナイター競輪を無観客で開催した。初めてなので比較ができない状況だが、ほぼ他場と同じような売上を記録している。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・とにかく物が動かない。

▲	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、外出や旅行がなくなり、新しい洋服を買う機会も少なくなっている方が多い。
▲	その他専門店 [燃料] (従業員)	販売量の動き	・販売量がかなり減少し、受注も減少傾向である。
▲	通信会社 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、先行きが不透明である。
▲	美容室 (経営者)	来客数の動き	・5月25日に緊急事態宣言が解除された後は、徐々にではあるものの、客足が戻りつつある。ただし、前年同月比3割減と依然として厳しい。新型コロナウイルス感染症対策支援事業費は、市町村によって優遇にかなりの隔りがある。
▲	設計事務所 (所長)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が出始めた頃から、低下しているようである。
×	商店街 (代表者)	お客様の様子	・自粛解除になり、多少は人がカメラの撮影や絵を描きに郊外に出掛け始めている。ただし、感染拡大への不安もあるようで、大半の人は外出を控えており、商店街への人出は全くない状態である。
×	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響がものすごく出ている。当店の客は高齢者が多く、身の安全を確保するため外出を相当控えており、年金支給月であっても本当に外に出てこない。10万円の特別定額給付金の給付があったとはいえ、全体的な客の外出や動きが本当に鈍い。
×	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・当店の客の中には、観光地で民泊をやっている客がいるが、ほとんど全とて言っているほど、個人経営の民泊、旅館が閉鎖している。有名観光地付近で、ホテルのメンテナンス、クリーニングをやっていた最大の会社が、新聞記事にもなったが、かなりの負債を抱えて倒産している。今後は相次いで、ホテル、物産、ドライブイン関係の、倒産や閉鎖が随分出てきそうである。景気は悪い方に入っている。客の様子をみても、とにかく活気がない。
×	スナック (経営者)	来客数の動き	・今月から店を再開したが、依然として来店客数が少ない。
×	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・今月19日に県をまたぐ移動の自粛制限が解除され、首都圏の客が増えてきている。しかし、地域によって来客数はかなり差がある。新型コロナウイルス感染予防対策のため、意図的に宿泊客数を減らしている事業所もあるのが現状である。第2波への恐怖もあり、6、7月は非常に不透明である。
×	都市型ホテル (経営者)	販売量の動き	・東日本大震災のときよりもひどい状況である。休業要請があっても休業補償がなく、最悪である。
×	都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・ホテルの集客については、緊急事態宣言解除もあったが、稼働はなかなか戻らない状況であり、低迷している。
×	タクシー運転手	お客様の様子	・相変わらず客がない。雇用調整で、稼働台数を3分の1に減らしても、1台当たり2万円の売上が良いところである。7月も稼働台数を調整する予定であり、地方では、この状態がしばらく続きそうである。雇用調整助成金は2～4月の平均で日当が決まるらしく、人によって違うが1日3000円ぐらいである。
×	タクシー (経営者)	お客様の様子	・全体的に人の動きが悪く、前年同月比51%の減少である。
×	タクシー (役員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響と国の政策が悪過ぎるため、悪化している。
×	通信会社 (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響は、飲食や観光だけでなく印刷やデザイン業界等、広く影響を及ぼしている。
×	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されたものの、県をまたいで移動の自粛の影響が強く、来園者数が激減している。
×	その他サービス [自動車整備業] (経営者)	来客数の動き	・メンテナンス主体の整備工場自動車販売も行いながら保険、板金塗装、車検を展開しているが、厳しい状態が続いている。特に、新型コロナウイルスの影響は板金塗装部門に顕著で、不急不要の外出自粛が影響し、前年比マイナス40%と大きく落ちている。

	×	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言が解除されたとはいえ、いまだ客足は戻っていない。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、特に飲食業が厳しい状況になっている。倒産も出ており、撤収等もあり、貸店舗がかなり増えてきている。アパート関係はそれほどでもない。事務所関係については、地方のため、皆撤収して本社に戻っており、貸事務所の空室が目立ってきている。今までにない大変悪い状況が、現在進行している。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・特別定額給付金の効果により、今月は通販、家電量販店の夏物商材、エアコンやサーキュレーター、4Kテレビ、冷蔵庫等、大幅な物量確保となり、前年の25%増の輸送量で、大変良い実績となっている。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・工場の稼働を止めていた取引先も、徐々に稼働を再開している。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響も受けず、前年並みの売上で推移している。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が、部品や生産等に及んでおり、3か月前と余り変わらない。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、自動車販売が前年比マイナスのまま変わらない。
	□	経営コンサルタント	取引先の様子	・飲食店、商店等で、少し人出が戻っているところもあるが、依然として新型コロナウイルスの影響があり、良くなるには程遠い。中小製造業、下請企業等の業況はまちまちであり、まだしばらく不透明な状況が続く。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・考えていたよりは余り落ち込まず、推移している。
	□	その他サービス業 [情報サービス]（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月に入り、徐々に引き合い、商談件数が増えてきている。
	▲	食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・経営する不動産賃貸部門では、飲食業から賃下げ要求や撤退の話合いがある。
	▲	化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注が回復せず、7月の生産は大きく落ち込むことが予想される。大手企業関連の生産活動が1日も早く回復することを祈る状況で、やや悪い。
	▲	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子や話を聞くと、8月過ぎから9月頃には仕事が多くなるとのことで、今、見積関係の間合せはたくさん来ている。ただし、実際に受注されてみないと分からない。
	▲	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年比で4月の売上は半分、5～6月は半分以下である。7月も現状、半分かそれ以下といったところである。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月は前年同月比4割減だったが、6月は同比2割減ぐらいまで持ち直してきている。余り景気が良いわけではないが、最悪は脱したような気はする。ただし、まだ予断は許さない。
	▲	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・受注量、販売量、競争相手や取引先の様子、全てが新型コロナウイルス発生以来、悪くなっている。
	▲	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事はともかく、民間の発注が少ないと感じている。
	▲	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・建物の維持管理作業では、法令に基づく点検、作業は、多少の延期はあるものの中止は減ってきている。相変わらず、医療や介護関連施設の清掃作業は中止が多い。
	▲	社会保険労務士	取引先の様子	・製造業でも一部休業する部署が出てきたり、長めの夏休みを取る事業所も出てきている。

	×	建設業（開発担当）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現政権誕生後、公共工事は順調に推移している。今期は新年度4月は新型コロナウイルス禍のなか、公共工事発注は前年比81%増と経験したことのない発注であるが予算は前倒しだとみている。年間を考えた場合、平準的に発注した方が良いと思うが、これもコロナ禍の影響が出ているためだと思われる。当社受注も前年比10%増と有り難いが、年間で考えた場合、先行きが心配である。
	×	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先ホテルの5月の宿泊、レストラン売上は前年比30%とのことである。これでもエリア内の競合ホテルよりは良い方だという話である。
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	—	—	—
(北関東)	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・お中元商戦等や配送関係で人員等の確保があり、製造加工等も機械関係の一部や食品関係の募集が活発さをみせている。依然として、看護職、介護職はわずかではあるものの、募集がみられる。今後については不安が隠せないところである。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に入り、製造業関係の事業所から、取引先の受注量減少やキャンセル等による休業等の実施の話が聞かれる。合わせて求人も減少している。
	▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・11月から新規求人数は減少傾向にあるが、前月は前年同月比マイナス41.3%と、全産業でマイナスとなっている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言が発出され、外出自粛や事業所の休業等、先行き不透明な状況で、求人そのものを検討する事業所が増加したためと思われる。
	×	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・当社の主要な取引先は宿泊施設なので、新型コロナウイルスの影響がある。今は宿泊施設も稼働し始めているが、全く稼働していなかったこともあり、当社の仕事はまだ元どおりには程遠い状況である。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・前年同期比で、派遣受注が半減している。今後の見通しが立たない状況では、なるべく既存の人員で業務を調整する派遣先が多い。
	×	人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先より休業要請があった。取引先の周辺企業も同様で、悪くなっている。
	×	学校〔専門学校〕（副校長）	採用者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・例年と比べ企業からの求人数が減り、採用控えが顕著である。